

# 令和5年度第1回大船渡湾水環境保全計画推進協議会 議事録

## 1 開催日時及び場所

- (1) 日時 令和5年9月1日(金) 午後2時から午後3時20分
- (2) 場所 大船渡市役所 議員控室

## 2 委員の現在数 26人

## 3 出席者

- (1) 委員 16人

佐々木武〔国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所 副所長〕  
中田浩一〔岩手県沿岸広域振興局保健福祉環境部大船渡保健福祉環境センター 所長〕  
野崎 弥〔岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター 所長〕  
長谷川和弘〔岩手県沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター 所長〕  
佐々木利昭〔大船渡市公衆衛生組合連合会 会長〕  
矢野トミ子〔大船渡市地域婦人団体連絡協議会 立根町会長〕  
柏崎明彦〔大船渡市農業協同組合 常務理事〕  
佐々木晋〔大船渡商工会議所 事務局次長〕  
新沼孝子〔夢ネット大船渡 理事〕  
金野たか子〔大船渡市農業委員〕  
佐藤惟司〔盛地区まちづくり推進員〕  
新沼眞作〔末崎地区まちづくり推進員〕  
佐藤高廣〔赤崎地区まちづくり推進員〕  
千葉憲明〔蛸ノ浦地区まちづくり推進員〕  
田村敏夫〔猪川地区まちづくり推進員〕  
山下 通〔日頃市地区まちづくり推進員〕

- (2) 事務局 10人

大船渡市

市民生活部長 新沼徹  
市民環境課長 鈴木康代、同課 課長補佐 金野道程、同課 係長 米田大祐、  
同課 主事 川畑大  
農林課長 大和田達也  
企業立地港湾課 課長 富澤武弥  
水産課 課長補佐 鈴木雅博  
下水道事業所 所長補佐 岡崎充博

岩手県

大船渡保健福祉環境センター 環境衛生課 主査 白藤裕久

(3) 令和4年度環境関連調査受託業者 4人

日鉄環境株式会社分析ソリューション事業本部 釜石センター

環境・材料分析室課長 中馬慶子、技術アドバイザー 青木延浩、

技術アドバイザー 大谷考一、営業室 野田 純

#### 4 議事の経過(要旨)

##### 【委員紹介】

鈴木市民環境課長から、前回会議後に委嘱された中田浩一委員、佐藤高廣委員、田村敏夫委員を紹介した。

##### 【会議成立要件報告】

米田係長から、委員26人中16人出席であり、委員の半数以上の出席があることから成立する旨を報告。

##### 【報告】

(1) 令和4年度大船渡湾水環境保全計画実施計画実績報告について

(2) 令和4年度環境関連調査結果について

(3) 重点施策の令和4年度取組実績について

全ての報告について承認された。

質疑等は、下記のとおり。

- 質疑応答 -

(2) 令和4年度環境関連調査結果について

[佐々木利昭委員]

今年は地球温暖化の影響か、例年に比べて非常に気温が高い。

気温が上昇することで、大船渡湾の環境にはどのような影響があるか。

[日鉄環境(株)青木アドバイザー]

水質の面では、気温が上昇することで湾の上層の温度が上がり、下層との温度差が大きくなる。

温度差が大きいと上層と下層の水が混ざりにくくなり、下層の溶存酸素飽和度が低下することが想定される。

また、水温が高くなることでプランクトンが増殖することも考えられる。

##### 【協議】

(1) 令和5年度大船渡湾水環境保全計画実施計画について

(2) 重点施策の令和5年度実施計画について

(3) 大船渡湾水環境保全計画の改定に係る基本方針について

全ての協議事項について承認された。

質疑等は、下記のとおり。

- 質疑応答 -

(1) 令和5年度大船渡湾水環境保全計画実施計画について

〔佐々木利昭委員〕

環境ボランティア活動の支援と育成について、私の所属する大船渡市公衆衛生組合連合会大船渡支部でも、昨年に清掃活動を行い、ごみ袋の支援を受けた。

市内各種団体に支援とあるが、どのような団体が支援を受けたか。

〔鈴木課長〕

昨年は、老人クラブ、スポーツ少年団、女性団体、公民館の環境部会等にごみ袋の提供やトンゴの貸し出しを行った。

地域の清掃を行う団体及び事業所は、事務局に声掛けいただきたい。

〔佐々木利昭委員〕

支援を受けている団体数はどのくらいか。

〔鈴木課長〕

令和4年度は10団体、今年度は現時点で6団体に支援を行っており、今年度は昨年同時期より支援団体数が多い。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、清掃活動を実施する団体が増えていると考えられる。

〔佐藤惟司委員〕

地域公民館で行う市内一斉清掃は、高齢化により実施が困難な状況になってきている。

一斉清掃時に使用する草刈機やトラックについて、以前は地域で用意できていたが、最近では用意が難しいため、市で貸し出しはできないか。

〔鈴木課長〕

一斉清掃の際の草刈機の貸し出しは現在のところ考えていないが、汚泥運搬のトラックの巡回ルートに地域を追加することは可能と思われるので、一斉清掃の際に声掛けいただきたい。

〔佐藤惟司委員〕

環境関連調査の報告において、カキ養殖を行う水深では低酸素等の影響が少ないとあったが、湾内の浄化がカキやアワビなどの養殖に与える効果について、今後、調査を行うことは考えていないか。

〔鈴木課長〕

湾内の浄化と養殖への効果について、今年度に策定する大船渡湾水環境保全計画の中で、どのように対応していくかを検討していきたい。

【その他】

質疑等は、下記のとおり。

- 質疑応答 -

〔新沼眞作委員〕

市が震災後に高台移転等で購入した土地について、利用されておらず草が繁茂しているところがある。

こういった土地の管理は、どこで行っているものか。

〔新沼部長〕

市の購入した移転跡地については、所有者である市が管理するものであり、担当課は土地利用課等となる。

今年度は気温や雨の関係で例年より草が繁茂していると考えられ、適切に管理するよう所管課に伝える。

〔新沼眞作委員〕

大船渡湾の湾口防波堤は、震災後の復旧で通水管が設置された。この通水管が水質改善にどのような効果があるかを伺いたい。

〔佐々木武委員〕

震災後の湾口防波堤の復旧工事において、海底に直径 3.5m の通水管を 18 本設置している。

通水管の効果については、県及び市の調査データを提供いただき、防波堤の内側と外側で海水交流が行われているかを検証している。

検証の結果、現在のところ海水は概ね循環しており、今後においても、検証結果を報告したい。